

初代「野菜ソムリエ No.1」に

沖縄の徳元佳代子さん

日本野菜ソムリエ協会（福井栄治理事長）では、第2回「野菜ソムリエアワード」を開き、4つの部門で入賞者を決定した。昨年の第1回アワードが書類審査などによる予選を勝ち抜いた入賞者を平等に表彰したのに対し、今回は、各々の部門

で書類選考による予選を勝ち抜いたファイナリストが来場者を前にプレゼンテーションを行い、来場者が審査員となって投票で金、銀、銅の入賞者を決めるもの。個人賞である「野菜ソムリエ部門」では、沖縄県の徳元佳代子さん（シテ野菜ソムリ

エ）が金賞を受賞、初代「野菜ソムリエ・ナンバーワン」に輝いた。

徳元さんは、野菜果物をふんだんに使った愛情料理を提案する「ベジフルマンマ」を起業。自ら農業生産にも携わり、加工・販売も行う。料理教室の主宰や講演、テレビ・ラジオへの出演、さらに地元新聞などのコラム執筆を行いながら、「農と食を楽しみ、健康的な社会に貢献すること」をめざしている。

コミュニティは福井ニンジンPRに評価

一方、各地の野菜ソムリエが自主的に行うコミュニティ活動を表彰する「野菜ソムリエコミュニティ部門」では、野菜ソムリエエ

コミュニティ福井が金賞に。JA花咲ふくいと連携し、県内100店舗の飲食店に地元産ニンジンを使った100メニューを作ってもらい、地元産ニンジンの生産・消費拡大につなげるプロジェクトにじん LOVEの活動などが評価された。

認定料理教室部門では、北海道北見市で料理教室「V&Fキッチン White Rose」を主宰するなど、「身体の内側からの健康・きれい」をテーマに活動している辻綾子さんが金賞を受賞。

このほかの部門は入賞者を全員表彰。認定レストラン部門では「オークビレッジ柏の葉」（千葉原柏市）など6店舗、認定青果取扱部門では「遠野ふるさと野菜」（岩手県遠野市）など6店舗、チーム特別賞では「大阪チヨコベジ隊」など3チームが受賞した。



事長